



議会だより

Shari Town
Assembly



6月23日 前浜清掃

No.204 令和6年・2024年8月1日

議会だよりのバックナンバーは
↓↓↓↓↓こちら！



ちいき本棚

<https://cccc.backshelf.jp/?folseq=859>



目次

- P 2 … 招集会議 専決処分・議決議案・補正予算
・人事案件 など
- P 3 … 第7次斜里町総合計画
審査特別委員会報告
- P 4 … 6月定例会議 補正予算・議決議案・条例
・意見書・人事案件 など
- P 7 … 全員協議会
- P 8 … 一般質問 7名の議員が町政を問う
- P13… 産業厚生常任委員会 道内所管事務調査
- P14… 委員会活動報告・議会モニター説明会
・編集後記など



5月1日 招集会議

令和6年の議会が始まります

会期を令和7年4月30日までの365日間と決定し斜里町議会定例会が始まります。

招集会議

議決議案

■ 専決処分

- 斜里町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の承認
- 町税条例の一部を改正する条例の承認

■ 工事請負契約の締結

- 光陽東団地B1棟改修工事
契約金額 5918万円
契約相手 丸七高橋・斜里経常建設共同企業体
- 学校施設空調(冷房設備)等整備工事
契約金額 5億9070万円
契約相手 長屋・片山経常建設共同企業体
- 朝日小学校長寿命化改修工事費の変更
契約金額変更前 4億0571万円
契約金額変更後 4億1641万円
契約相手 丸七高橋・斜里・片山・長屋特定建設工事共同企業体

■ 財産の取得

- 取得する財産 ごみ運搬車両
取得金額 1815万円
契約の相手方 北海道川崎建機株式会社北見支店

■ 建設工事委託に関する協定締結

- 斜里町特定環境保全公共下水道ウトロ下水処理場更新事業
契約金額 3億0800万円
契約相手 日本下水道事業団

■ 一般会計補正予算

- グループホームコーポレンス屋根改修工事費 704万円

■ 病院事業会計補正予算

- 過年度分診療報酬返還金 1億788万円

■ 人事案件 (敬称略)

- 固定資産評価員選任の同意
氏名 境 亨



第7次斜里町総合計画審査特別委員会報告

初めに:

第7次斜里町総合計画とは、町の政策目標を示し、それを実現するための施策や事業を関連付けて、総合的・体系的に取りまとめられており、基本構想、基本計画から構成されています。

令和6年1月31日に開催された臨時会議において、議案第69号第7次斜里町総合計画（案）が提案され、内容の審査を行うため特別委員会に付託されました。特別委員会の委員長に海道副議長、副委員長に小暮議員を選任し、12名の委員が様々な意見を出し合い委員間討議を行った上で審査を進めてきました。

そして令和6年5月1日に開催された招集会議において特別委員会の審査報告を行い、第7次斜里町総合計画（案）を一部修正すべきとし可決されました。

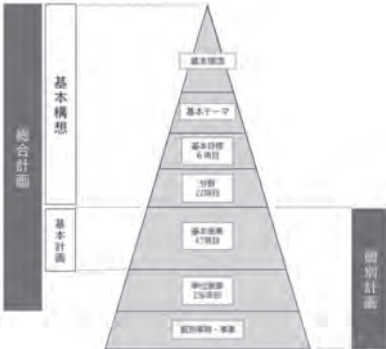
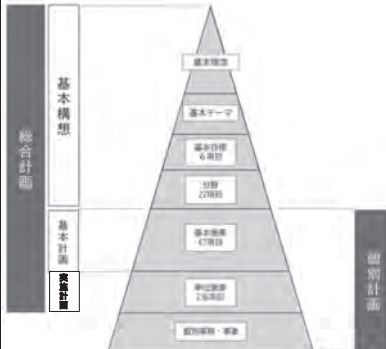
今後においても斜里町が暮らしやすく、活気に溢れ魅力あるまちであり続けることができるよう、将来に向けて目指すべき姿を町民と共有し、複雑多様化する地域課題を克服し、まちの持つ強みを伸ばす施策を展開していく指針となることが期待されます。

審査報告の内容

○審査の方法

今後10年間にわたる斜里町の行政運営方針、事業の実行性と目標の有効性、町民の福祉向上に対する実行性について審査し、SDGs（持続可能な開発目標）という新しい視点をもって地域の課題解決に取り組む計画となっているが、施策に対してどのような反映されているかについて、委員全員ですべての審査を行った。

○修正箇所

項及び施策名	修正箇所	原 案	修 正 案
P 2 7 IV-1 計画の全体像	4 行目	また、「基本計画」では、基本構想を実現するための「基本施策」「単位施策」を示しています。	また、「基本計画」では、基本構想を実現するための「基本施策」を示しています。
P 2 7 IV-1 計画の全体像	図		 ※「基本計画」の下位に「実施計画」を加え、「実施計画」に「単位施策」を充てる。
P 7 7 2-3-1 観光地・観光施設の魅力向上	目的	既存の観光地や観光施設を適切に維持管理しつつ、老朽化の状況を踏まえながら順次リニューアルを行い、また、必要に応じて新規施設等も検討していきます。指定管理制度の活用にとどまらず、民間による投資や、官民連携手法も検討していきます。これらによって、観光地・観光施設の本来の魅力を引き出し、知床、斜里町への来訪動機を高めていきます。	既存の観光地や観光施設を適切に維持管理しつつ、老朽化の状況を踏まえながら順次リニューアルを行い、また、必要に応じて新規施設等も検討していきます。指定管理制度の活用にとどまらず、民間による投資や、官民連携手法も検討していきます。これらによって、観光地・観光施設の本来の魅力を引き出し、知床、斜里町への来訪動機を高めていきます。 特に事故の再発を防止するため事業者が協調運行できるよう基地施設の整備を図り、海上観光の安全・安心、快適さを高めることによって観光船遭難事故で失われた信頼を回復します。

付帯意見

【基本目標2 産業が安定しつづけるまち 2-3-2 アクティビティの拡充とリスク管理体制の確立】

知床アクティビティリスク管理体制検討協議会では、町内で行われている自然アクティビティの実態把握やリスク分析を行い、改善策やリスクマネジメントのあり方を総合的に検討し、安全管理体制の一層の向上を図っている。

協議会の最終報告では「知床自然アクティビティリスクマネジメント事務局（A-risk事務局）」を組成し、業態、業種、プログラムの催行エリア別に組成される中間支援組織や窓口団体を「A-risk指定団体」に指定することとしており、指定団体の参加率向上に努め、安全・安心、信頼回復のため強い意志を持って取り組んでいただきたい。

6月定例会議

6月19日～21日

6月定例会議では、補正予算4件を始め一般議決議案1件、条例の改正・廃止8件、意見書7件、人事案件1件と、一般質問7名・10項目の質問及び審議が行われました。



一般会計補正予算

110億3383万円

(4億9327万円追加)

【総務】

●地域づくり推進事業及び地域ブランディング事業 784万円
移住定住促進を目的に情報発信ツールやPRイベントを実施します。

●書かない待たないワンストップ窓口支援事業 795万円
若者・中堅職員中心の庁内横断的な組織「窓口改革タスクフォース」で、スマート窓口システムの導入等手続きを簡素化します。またロビーにBGM等を導入します。

若木議員 BGM等を導入する目的は？

答 庁内を明るい雰囲気にしたかった。来庁された町民の方にリラックスして頂きたい。また職員もリラックスすることで業務の効率化を図りたいと思っています。

●鳥獣遠隔監視事業 166万円
ドローンや自動監視カメラ等を利用してヒグマの出没を監視する委託事業を行います。

若木議員 ドローン導入はどのような利用を考えていますか。クマ出没時の対応方法は？

答 ヒグマが潜んでいる市街地の藪の中を搜索することを想定しています。農地でも利用できると思っています。ヒグマへの対応は、ゾーンに基づいて

て判断していきます。

●学校DX推進事業 3657万円

斜里小、朝日小、斜里中、ウトロ学校、教育支援センターに電子黒板の導入と一人一台端末に教育支援アプリを整備します。

●温浴整備事業 124万円

令和6年～8年（基礎調査～基本構想～基本計画）の基本計画・初年度の予算分。先進施設の視察調査費と町民ニーズ調査費になります。

●物価高騰重点支援給付金事業国庫補助金 1億9004万円

令和6年に新たに住民税非課税又は均等割のみ課税となる世帯に対し一世帯当たり10万円を支給。そのうち世帯内で扶養されている18歳以下の子ども1人につき、5万円追加支給します。令和6年分所得税、住民税において、定額減税しきれない分について差額を給付金として支給します。扶養親族までを含み、1万円単位で切り上げて算出。住民税分1万円、所得税分1～3万円、計最大4万円。

【民生】

●斜里福祉会建設費償還金支援事業 6981万円

債務不履行回避のため、法人の経営上負担割合の大きい「建物償還金」について支援します。

金盛議員 緊急的な措置として今回はやむを得ないが、健全な経営計画が必要で町にも保険者としての責務が求められているが。

答 町として特養をなんとかしても維持していかなければいけない。経営改善は必須なので、しっかり法人と話し合っていくきます。

●地域おこし協力隊（社協分）事業

862万円

●令和6年10月から児童手当制度の改定に伴う児童手当システムの改修

570万円

対象…所得制限なし。

3歳未満の1子2子…1万5千円、3子…3万円、3歳から高校生まで（1子、2子）…1万円、3子以上…3万円。

●未就学児子育て世帯の給食無償化

225万円

公立・私立を問わない全ての保育施設が対象で、3歳以上の児童の給食費を無償化する（令和6年9月分より）

小喜議員 2歳未満の児童も無償化になるよう切り込んでいただきたい。

答 導入している先進的な自治体もあるため情報収集に努めていきたい。

●開業医誘致助成事業

45万円

町内唯一の医院の閉院に伴い開業医誘致助成事業として職員の旅費と広告料等。

※実際に開業医を誘致できるようになった際、斜里町開業医誘致助成として、最大5700万円を一般財源として予算化します。

渡邊議員 職員の旅費の予算となつ

ているが、医師が斜里を見学するための予算は考えているか？

答 以前斜里に居た医師の訪問を想定しているが、臨機応変に対応していきます。

【衛生費】

●廃棄物処理修繕料追加

1650万円

エコクリーンセンターの高温高圧処理機内部の攪拌羽（かくはんばね）を修繕します。

【農業費】

●農業次世代人材投資事業補助金追加

150万円

道補助金（1年分）
国の新規就農者育成対策事業として新規就農者へ最長3年間補助します。

佐藤議員 新規就農者はどのような経緯で、補助金対象の要件は。

答 農林水産省の事業で次世代を担う就農者が対象。研修等の後押しや経営を支援します。

【林業】

●林業・木材産業構造改革事業補助金

8324万円

道補助金
町内民間事業者が生産性向上と経営安定化を図るために老朽化した製材機械を高性能なものにする更新に対して町が助成します。

【商工費】

●知床アクティビティリスク事務局負担金
300万円

金盛議員 救命いかだ、業務用無線等国の義務化のものだけではなく衛星電話等の支援も検討すべきでは。

答 安全設備の義務化として、まずは国の補助の予算に上乗せ補助を行い、事業者の負担軽減を図り国の基準を満たします。

渡邊議員 小型船乗組員の研修制度が義務化され負担になっている。支援できないか。

答 事業者と意見交換して協議していきます。

【消防費】

●斜里地区消防組合負担金追加

292万円

【教育費】

●事務局運営事業

649万円

●体育文化振興助成金追加

964万円

●知床ウトロ学校通級指導教室備品

132万円

小喜議員 7・9年生についても通級指導教室は利用できますか。

答 ウトロ学校の通級指導教室を担当する先生が中学校の免許も持っているため7・9年生も利用します。

●学校活動振興バス事業

114万円

町内事業者よりマイクロバスを寄贈いただいたため、地域活動団体への貸し出しを行います。

若木議員 貸し出し以外の活用はありますか。ドライバーの要件は。保険は誰でも適用されますか。

答 公用車の扱いとして貸し出します。ドライバーに一定の要件はありますが、保険の適用はドライバーも対象となります。

●地域おこし協力隊（子どもメンター分）事業
476万円

■特別会計補正予算

●国民健康保険事業特別会計（第1回）
17億4761万円

木村議員 医療費は前年に比べてさほど変化をしていない。道による保険料率の統一化から6年目。本年は緩和措置の補助制度がなくなったため保険料の上昇がみられたと思うが間違いないか。

答 その通りです。斜里町はさらに所得の二極化があり、高額所得者が国保から社会保険に移行したことが大きいと思います。

●国立公園森林保全事業特別会計（第1回）
4945万円

■企業会計補正予算

●水道事業会計（第1回）
1億9378万円

★いずれも全会一致で可決しました。

■ 条 例

●特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

令和5年11月29日に北海道厚生局による斜里町国保病院への調査が実施され、12項目の結果が通知「診療報酬返還」という事態になりました。斜里町が設置する医療機関として、町民・関係機関の皆様に、町に対する信頼・信用を損ねるものであることからその責任を重く認め町長・副町長の減給処分を行います。

討 論

反対

今井議員 本件に関して、まずは故意にこの事案を起こした訳ではないということ、そして町長・副町長にも生活をする権利があるということです。

今後の斜里町行政へ影響を及ぼすことが懸念されることから、条例改正案では2カ月で50%の減給としていますが、2カ月で30%が妥当であると考えため、反対します。

賛成

海道議員 やはり重く受け止めるべきであると考えます。

町民からは2カ月で50%の減給では足りないという声もありますが、金額の多い少ないということにかかわらず、起きてはならないことが起きてしまったということです。

この事実をしつかりと受け止め、けじめをつけるということが理事者の当然取るべき姿であると考えため、賛成します。

賛成

若木、小暮、木村、佐々木、石井、渡邊、佐藤、金盛、久野、海道

反対

今井
欠席 荒木

★賛成多数で可決しました。

●斜里町ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例

●斜里町ふるさと応援寄附条例の一部を改正する条例

●斜里町国民健康保険条例の一部を改正する条例

●斜里町地域福祉計画審議会設置条例を廃止する条例

●斜里町地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準を定める条例の一部を改正する条例

●斜里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●斜里町保育園条例の一部を改正する条例

★いずれも全会一致で可決しました。

■ 議 決 議 案

●北海道後期高齢者医療広域連合規約変更に関する協議について

■ 人事案件

(敬称略)

■斜里町農業委員会委員

羽田野 達也

■ 意見書

●厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める意見書

提出者 若木 雅美

●ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

提出者 小暮 千秋

●令和6年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

提出者 金盛 典夫

●義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

提出者 石井 博美

●道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改訂版)を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

提出者 石井 博美

●地方財政の充実・強化に関する意見書

提出者 若木 雅美

★いずれも全会一致で可決しました。

●知床国立公園内大規模太陽光パネル群等設置計画の再考を求める意見書

提出者 金盛 典夫

討 論

反対

佐々木議員 設置計画についてはすでに再考している段階にある今、国に改めて再考が必要であるという意見書を提出することに必要性が感じられないこと、また適切ではないと考えため、反対します。

賛成

若木議員 意見書の趣旨にある通り、斜里町が長年自然を大切に、その想いの中で全国の方々から寄附を募りながら守ってきた経過があります。

斜里町議会の意思として、このパネル群の設置については再考してもいいという意思を国に届けるべきであると考えため、賛成します。

賛成

若木、小暮、木村、石井、今井、渡邊、佐藤、金盛、久野、海道

反対

佐々木、荒木

★賛成多数で可決しました。

*意見書は議決後、関係機関に送付しました。

〈3/26〉知床アクティビティリスク管理体制検討協議会の最終報告について

- ・最終報告の内容について、特にリスクマネジメントの重要性と法的規制の不足が強調されています。
- ・今後の課題として、リスク評価の整備や情報発信の強化が挙げられ、協議会の成果が具体的な規則として地域に還元されることが期待されています。

〈5/1〉斜里町国民健康保険病院経営強化プランについて

- ・経営効率化と地域連携、医療人材の確保、収益確保策、町民の信頼向上について説明や議論が行われました。
- ・議員からは、病院の接遇改善や職員の労働環境改善、外来患者数の減少原因の分析について質問がありました。議論を通じて、町民の命と健康を守るための病院経営の安定化が重要であるとの共通認識が確認されました。

〈6/10〉知床岬携帯基地局整備に関する経過等について

- ・町から知床岬の基地局整備の経過について、行政側から説明が行われました。
- ・2024年5月から工事着工とされていましたが、環境保護団体などからの反対意見が出ており、各関係者と協議を重ね、最適な方法を模索する必要があるとされました。



〈6/19〉社会福祉法人斜里福祉会への支援策について

- ・経営改善のための協議内容や進捗状況が報告され、法人の運営継続に向けた支援が検討されています。
- ・具体的には、町からの補助金や金融機関との融資協議、施設の経営改善計画などが議論されました。

〈6/20〉斜里町開業医誘致助成事業について

- ・斜里町の開業医の撤退により予約なしでの受診が難しくなる可能性を示唆。国保病院への負担が危惧され予防接種の受診率の低下や、学校医の減少、感染流行時の発熱患者の対応などが懸念されており、早急な取り組みとして開業医の誘致と助成制度案について説明がありました。
- ・議員からは複数の誘致に関する質問や、助成内容や場所の候補地についての意見が出されました。

〈6/20〉エコクリーンセンターの課題への対応と広域化施設整備の進捗状況について

- ・エコクリーンセンターは1市5町（網走市、大空町、小清水町、清里町、美幌町、斜里町）での広域化施設整備が検討されています。（建設費用：110億円～160億円）
- ・現在のエコクリーンセンターの課題への対応状況と、1市5町で検討が進められている新たな広域ごみ処理施設の進捗状況の説明を受け、質疑がありました。

〈6/20〉新たな観光振興財源の確保について

- ・財源の運用方法として観光振興財源の基金化の検討や入湯税で徴収する方針などの説明が行われました。
- ・議員からは宿泊税と入湯税の収入差異や試算方法、関係者用の資料の分かりやすさの改善が指摘されました。

〈6/21〉斜里町都市計画マスタープランについて

- ・都市計画マスタープランの計画の基本事項、現状と課題、全体構想、地域分け、実現に向けた方策、スケジュールが説明されました。
- ・質疑ではコンパクトシティの概念と計画面積が増えたことへの矛盾の指摘や、人口減少、空き家・空き地問題、高齢化社会への対応などが議論されました。

〈6/21〉斜里海浜サケ・マス釣りルールについて

- ・暫定版としていたローカルルールに、釣りざおは3本まで、持ち帰り数は3匹までとする内容や、テントの設営は24時間以内にす新たな案を加え、確定版として7月から運用開始することが確認されました。

このままで良いのでしょうか?
以久科原生花園!

録画映像を動画でチェック▶



久野 聖一 議員

問 私の小学生時代は、清水原生花園に匹敵するようなエゾスカシユリの花を中心とした素晴らしい花園が広がっていました。

知床が国立公園に指定される前から、ここは町民にとって誇れる場所でしたが、環境の変化や、盗掘などにより、だんだんと景観が悪くなり、現在見る影もない状況だと感じております。整備計画を立て、検討する価値があると思います。以久科原生花園の今後の方向性について、町長の所見を伺います。

町長 北海道や地元関係者のご意見を伺いながら方向性を決めていきたいと考えています。

問 すでに国道から現地に案内する看板もあり、SNSでもこの場所を含め、知床連山を一望できる絶景となっていることから、現在、修復中などの看板は立てられないのでは



案内板です。これが今年度の予算で手が加えられて大変うれしいです。

ようか。

町長 花園の入り口にある字の消えた案内看板については、今年度の予算で手直しを考えます。

問 清水原生花園が美しく話題になっていた頃から、我が町にもこの場所があつたという誇りを大事にしていきたい。

町長 主に植生保護策等のハード整備は北海道、遊歩道の草刈りなどは町として分担で行っておりますが、予算も限られており、老朽化が進んでいるので、今後につきましては、北海道や地元関係者のご意見を伺いながら方向性を協議していきたいと考えています。

部活動の地域移行は、生徒達の
充実度も十分に考慮すべき!

問 国の教職員の長時間労働を解決するための一手として、部活動の地域移行を推進しています。

斜里町の動きとしても、部活動の地域移行について、中学校側から保護者説明会が行われましたが、部活動の募集停止や完全移行年度等の見解が学校側と保護者側と食い違いがあり、このままではスムーズな移行ができないばかりか、その期間に対応を迫られる生徒たちの充実感が失われると感じています。

もう一度、学校側からの丁寧な説明と打開に向け教育長の考えをお伺いいたします。

教育長 移行について父母への説明は再度共通理解を図っていけるように努力します。

問 各部活動の週ごとの実施回数は、それぞれの先生にお任せしても良いのではないのでしょうか。

教育長 専門性のある教員の確保も困難なことか

ら、回数については将来の持続可能な部活動の姿を想定してやっていきたいと思っています。

問 部活動が地域移行した場合、このままでは、都市部と地方の中学校のレベルの差がますます出てくるのでは?

教育長 部活動の勝利至上ではなく、まずは生徒を指導する活動の場を作ることと考えていきたい。

問 これまでのように、父母の協力のもとに行う運動会などは残すべきでは?

教育長 部活の指導だけではなく、託児



どうする? 部活動の地域移行!

機能、栄養機能等、あらゆるものが学校に押し寄せています。学校の通常の行事も働き方改革に合わせて変わっていくと考えています。



小暮 千秋 議員

加速化する少子化！ これからの子育て施策をどうする？



録画映像を動画でチェック▶

問 斜里町では令和5年の出生数は41人でした。令和4年の68人から一気に減ったことは大きな驚きであり「少子化が加速している」と言わざるを得ません。これからの子育て施策についてお聞きます。

施設整備について

問 現在の町立常設保育園2園、へき地保育所2園について適正数をどう考えますか。

町長 少子化の他にも施設の老朽化、保育士不足、子育て施設の機能充実など課題が深刻化しています。課題に対処するには施設の統廃合をしながら複合施設化も検討すべきと考えています。

問 未満児保育のニーズに対応し適切な施設数を見極めるべきでは？

町長 令和9年度から子育て施設整備を計画しており、今後の人口動態、保育需要の変化も踏まえて整備していきます。

経済的支援について

問 未就学児の給食費無償化はとても良かったと

思います。今後小中学生の給食費無償化についてはどう考えますか？

町長 安定的な財源確保など課題もありますが、私の公約でもあり実現に向けて検討してまいります。

情報発信について

問 子育て世代に向けては「子育てガイドブック」で子育て情報が網羅され、SNSの活用も好評を得ています。

子育て世代以外にも、これから子育てする世代や祖父母世代に向けて斜里町の取り組みを知ってもらえるような情報発信を行い、Uターン促進につなげてはどうですか？

町長 子育て支援センターの新規事業「ぼかぼかサロン」など、世代間交流を大切にしていることが口コミで伝わることを期待しています。

問 里帰り出産時や、長期休暇の帰省時に「あそび場」「利用できる施設」などわかりやすく情報をまとめたリーフレットを作つてはどうですか？

斜里町が「子育てしや

すい町」と思ってもらい、Uターン促進になるのでは？

町長 今年度、移住定住推進のため担当課もできました。きめ細やかな情報発信に加えて、住環境や教育環境などの関連施策を含めた総合的な対策も必要と考えています。

小学校の再編統合について今後の考えは？

現在、小学校の統合について検討はされていますか？

問 斜里町の児童数は斜里小学校273人、朝日小学校164人、知床ウトロ小学校前期48人で合計485人です。令和5年度生まれの学年は48人となり、今後の出生数が50人ほどで推移すると将来的に斜里町の児童数は300人ほどになると考えられます。

これから小学校の再編統合について教育長の考えは。

教育長 平成28年度に市街地小学校を2校に統合



子育て支援センターで遊ぶ子どもたち

した時の合計児童数509名に対し令和6年度は437名と72名減少しています。近年の出生数の低下からも、今後更に児童数が減少することが見込まれます。

今後10年間の第7次総合計画期間内には検討に入る必要はあると考えますが、当面は現行の2校体制の継続が必要と考えています。

再編統合の検討に入る要件（児童数、教育方針等）は？

問 少子化は加速していきますから、今からでも検討を始めるべきと考えま

す。

仮に2校を統合した場合、長寿命化工事も終わりエアコンも完備された校舎をどうするのか、町のグランドデザインにも大きく関わってくるのではないのでしょうか？

教育長 現在、いずれの小学校も普通学級に加え、複数の特別支援学級を配置や、通級指導教室の必要性も高まり、空き教室は不足しています。個別最適な学びの環境確保も必要であり、児童数が減ったからすぐに統合とは考えません。

町全体の立地適正化等も含め、総合的に検討、判断していきます。



当面は現行の小学校2校体制を維持する見通し

斜里町らしい子育て支援で 移住促進を!

録画映像を動画でチェック▶



渡邊 誠 議員

子育て支援は他市町村と比較してどこに優位性があると考えますか?

町長 家庭の経済的安定や子供の健全な成長、親の負担軽減、社会全体の福祉向上、労働力確保と経済成長、そして少子化対策など多岐に渡るものであり、そのバランスが重要と理解しています。

子育て支援の予算は今後増やしていきま

町長 取り組みを充実させていきたいと考えていますが、一概に予算ベース重視で評価したり実績としたりすることは難しいと考えております。問 支援拡大のため義務的経費の見直しが必要だと思いますがいかがですか?

子育て世帯へのイメージ戦略は?

町長 差別化したイメージ戦略が重要であると認識しています。コアターゲットは20代後半から40

代前半を設定しており、『Shiretoko sustainable 海と、森と、人。』のブランドイメージ構築、発信に取り組んでいきます。

問 ターゲットをもっと少し絞ってイメージ戦略をしてみたいかができますか?

町長 情報が伝わってい

ウトロのまち全体の新たな整備計画をつくりませんか?

事業者への商業用地の現在の条件や、再開発事業計画のその後の説明を行う考えはありませんか?

町長 土地開発公社が整備した土地が残っていないため、説明会を実施することは考えていません。

ウトロの地区再生基本計画を、再度策定すべきでは?

町長 現時点では大きなプロジェクトは予定されていないことから、策定の想定はしていません。問 道の駅の改修や夕日台エリアの改修は大きな工事ではないのか? 今まで部分最適で進め

ない部分についてはターゲットを絞りながらやっていくことは重要と考えます。

今後の子育て支援メニューは?

町長 現状の整理をしつつかりした上で、国・北海道などの方向性を見据え

ながら、各種計画の中で具体的に町民の声を聞きながら検討して参ります。問 アウトドアブランドとコラボして学校の制服やジャージをつくるてみ

では?

町長 学校教育や子育ての部分で検討していきたいと思

てきたから各施設の機能目的や役割の棲み分けなど全体最適がでずうまく進まなかったのでは?

町長 いきなり全体最適の議論をしても進まないで個別計画からはじめていくべきと考えます。問 全体最適や未来構想を描くのは町長の役割では?

町長 ウトロのみならず斜里町民全体で考えていくべきこと。全体構想をやらなければならない。必要であることは共感します。

検討するタイミングとプロセスをしっかりとやっていきたいと思っています。



平成12年当時のウトロ重点地区総合再生ゾーニング
観光地の主要拠点であるウトロ地区は、都市計画マスタープランや立地適正化計画の対象範囲ではなく、まちづくりにおいて全体を考える場所や機会がないのが現状です。売却や解散したら終わりではなく、その後のフォローとして次につなげるための引き継ぎや丁寧な説明、全体最適を考えるため、ウトロ全体の将来構想を協議する場の再設定などがあるべきだったと考えます。



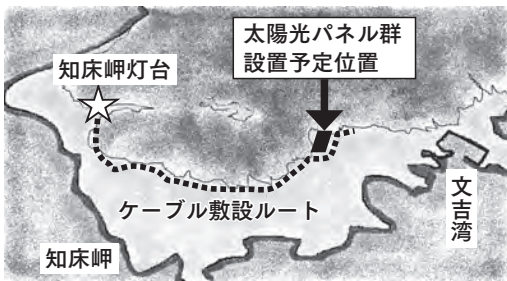
金盛 典夫 議員

知床岬先端部の大規模太陽光パネル群の設置に反対すべき



録画映像を動画でチェック▶

知床岬太陽光パネル群設置位置及びケーブル敷設計画図（知床半島（斜里町関係）における携帯電話基地局整備の進捗状況（令和5年12月総務省総合通信基政局）の資料をもとに作成）



問 知床沖の遊覧船沈没事故を契機とする知床国立公園特別保護地区及び知床世界自然遺産核心地域への大規模太陽光パネル群の設置は、「世界の宝 知床」の価値を大きく損ない、他の国立公園、世界自然遺産の保護・管理にも甚大な悪影響を及ぼすことから明確に反対すべきと考えるが町長の考えを伺います。

知床半島部の通信環境改善要望に対しては、漁業無線、業務用無線に加え衛星電話の推奨を図るべきと思いますが町長の

考えを伺います。

町長 「みどり」と人間の調和を求めて」をまちづくりの基本理念としてきた斜里町として、知床世界自然遺産地域科学委員会でも懸念が指摘されたことから、科学的検証がなされたうえで整備の在り方を決定すべきと考えています。

世界自然遺産知床の自然・景観の保護との両立を前提にした知床半島部の携帯電話の電波状況改善を求めていく考えに変わりはありません。

問 国立公園内への太陽光パネル群設置は斜里町再生可能エネルギー発電施設の設置に関する条例に抵触するのではありませんか。

町長 国が許可したものを町条例で拒否することは難しいと考えています。

問 斜里町側のウニ漁などは携帯電話の通話圏内で操業しているはずですが、岬のパネル群設置は公益性に乏しいではありませんか。

町長 多ルートでの通信手段が必要と考えています。



若木 雅美 議員

町民が安心して暮らすことができる介護サービスの提供のために



録画映像を動画でチェック▶

斜里福祉社会について

問 町の支援の考え、「斜里福祉社会の継続運営を前提にあらゆる可能性を排除せず、新法人探し、直営化による指定管理等を状況変化に合わせて進めていく」について、協議の経過と町長の考えをお聞かせします。

町長 法人役員と定期的に協議をもち、経営課題や今後の進め方について、協議を行っています。

町長 町は、特別養護老人ホーム機能をなくすわけにはいかないとの観点から、経営継続の課題回避を目的に建設費の助成を行い、法人は、経営・運営の改善に努めることを確認しています。

人材確保の支援

問 非正規雇用の離職防止の観点から、業務調整を支援することは考えら

れませんか。

町長 非正規雇用の調整は、事業所ごとに取り扱いが違い、課題となっていますが、町で支援することは現状では困難と考えます。

問 外国人実習生の資格取得支援が早急に必要と考えています。

町長 すでに継続的に支援を行っており、今後も、各事業所の取り組みを支援します。

問 各事業所のICT化や介護ロボット導入の支援を検討してはいかがですか。

町長 導入を進めている事業所もあり、事業所の意向を聞きながら支援に努めます。

問 有資格者の町外流出防止は、大変重要な視点です。介護従事者の相談窓口の設置を検討すべきと考えます。

町長 離職防止の観点とは、町外流出を回避するため大切な視点であることから、まずは先進地の情報収集に努めます。

人材確保と働きやすい労働環境について

録画映像を動画でチェック▶



石井 博美 議員

最優先課題福祉政策
人材確保に向けた取
組みは?

問 人員不足については、特別養護老人ホーム、国保病院、各福祉事業所でも最大の問題であると思います。

特別養護老人ホームの待機者数は減ってきていると聞きますが町内で入所できない方が多いのが現状です。

令和4年に特定技能職員として12名の外国人職員を迎えることができたが、日本語の訓練が不十分ため苦労をしていると聞きます。5年間の資格を取らなくてはならない状況であり、町として何らかの対策が必要ではないかと考えますが、町長の所見をお伺いします。

町長 介護人材不足によるユニット閉鎖でサービス制限が継続されていることについては懸念をしているところであります。人材不足の中で、20名弱の特定技能実習生を受け入れする状況は道内事業所でも例が少ないと認識

しています。

翻訳アプリの導入支援については?

問 業務日誌の引き継ぎ等の記入やパソコン入力に苦労されているとお聞きます。今の時代は翻訳アプリの開発も進んでいますので導入の支援をするのはできないでしょうか。町長の所見をお伺いします。

町長 事業所ごとに先を見据えながら取り組みを進めているところであります。アプリなどによっても違い、法人側の受け入れ支援の取り組みでもありますので法人に聞き取りをしながら、他事業所も共有できるよう進めてまいります。



災害時でも安心して使える 防災井戸の配備を

録画映像を動画でチェック▶



木村耕一郎 議員

低い耐震化率

問 能登半島の地震で災害復旧が遅れているのは水道状況で水道耐震化率が全国より低いため、斜里町の現状は。

町長 基幹管路は60%以上ですが配水管も含めた水道管全体では4.6%と低いです。

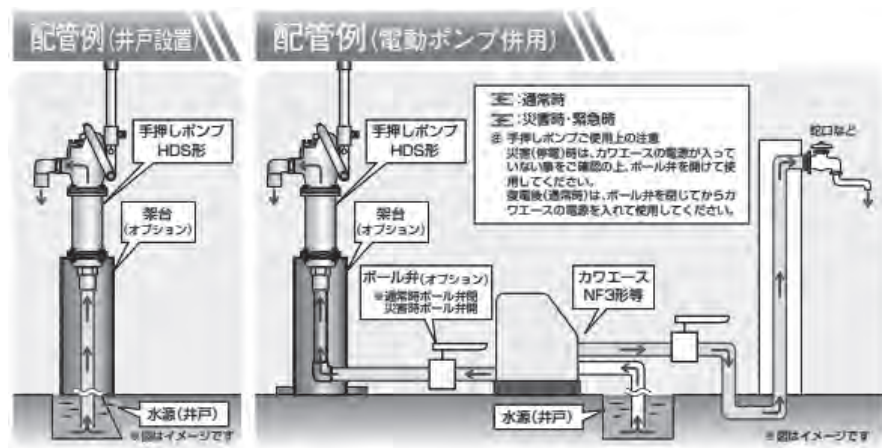
水道料金
3倍に

問 耐震化100%を実現するための費用と水道料金はいくらになるか。

町長 20年間で180億円程度、料金は3倍になると試算され、災害時の生活用水の確保は大きな課題です。

まず民間
所有の井
戸と災害
時連携協
定を

問 費用と料



金の高騰、そして長い年数がかかるので、最初に民間所有の井戸と災害時連携協定を結ぶべき。

町長 先進地自治体の情報収集しながら検討を進めていきたい。

問 避難所にも防災井戸の配備をすべき。

町長 公共施設等の避難所についても検討を進めていきたい。

産業厚生常任委員会道内所管事務調査報告

5月21日～23日



■ 栗山町 5月21日

「栗山町立
北海道介護福祉学校」



栗山町 栗山町立北海道介護福祉学校

町立の介護専門学校との
取り組みについて視察し
ました。

5月21日～23日の3日間、道内先進
地を視察・調査を行いました。
今期4年間の委員会テーマ「介護人
材不足の解消」に基づき、栗山町・東
川町・札幌市・江別市に向かいました。
課題解決のヒントがたくさん得られ
充実した調査となりました。これから
の活動に活かしてまいります。

全道から
約40名の生
徒が入学し

■ 専門知識・技術を学んで
います。道内12自治体と
連携協定を結び、自治体
推薦による授業料の減免
制度など実施。卒業後は
推薦自治体に就職し定着
率も高いとのこと。社会
人の「離職者等再就職訓
練」として入学し、給付
金を受給しながら学ぶこ
とができるなど、今後の
人材育成の参考になりま
した。

■ 東川町 5月22日

「東川町立
東川日本語学校」

町立の日本語学校で世
界各国から入学した学生



東川町 東川町立東川日本語学校

104名が日本語を学ん
でいました。
習熟度別に初級・中級・
上級と分かれ1年間学ん
だ後は、就職、進学と進
路も様々で、さらに短期
コース（1～3ヶ月）も
あり、日本語学習や日本
文化体験が人気となり2



東川町 共生プラザそらいろ

「共生プラザそらいろ」
昨年10月にオープンし
たばかりの施設で、1階
は子どもの遊び場やキッ
チン、2階は本格的なト
レーニング機器が並ぶ健
康づくりルーム。
地域活性化企業人制度
を活用し専門コーチ2名
がトレーニングのサポー
トや町民向け講座を行っ
ています。



札幌市 北海道介護ロボット普及推進センター

「北海道介護ロボット
普及推進センター」
介護現場の職員不足や
効率化を図るために開発
された約80種類の福祉機
器・用具がショールーム
に並び、体験も交えて案
内していただきました。
こうした機器を導入し、
職員の負担軽減や作業の
効率化を図ることも大切
です。

■ 札幌市 5月22日

建築家・隈研吾氏監修
の目を引く外観と明るく
開放的な内装が素晴らし
く、通いたくなる多世代
交流の拠点でした。



江別市 ココルクえべつ

「ココルクえべつ」
広い敷地に高齢者施設
・障がい者施設・保育所・
日帰り温泉やレストラン、
パン工房などがあり誰で
も利用できます。
障がい者就労支援事業
としてトラフグの陸上養
殖施設まであるのには驚
きました。
平日はもとよりイベン
ト時などは1000人を
超す集客だとか。まさに
これからの地域共生社会
の姿を目の当たりにしま
した。

■ 江別市 5月23日

議会モニター説明会



3月25日から4月12日まで募集していた議会モニター(12名)が決定し、5月17日(金)にモニター説明会を行いました。

今回が初顔合わせとなることから、出席者(リモート含む)の自己紹介の後、

- ①議会の役割や権限等
- ②議会モニターの目的や活動
- ③今後の活動回数と予定 等々

について説明させていただきました。

今後2年間にわたって活動をしていきますので、よろしくお願いします。

委員会活動報告

斜里町議会では、常設の四つの委員会が各々の役割を持ち活動しています。それぞれの委員会の活動内容をお伝えします。

総務文教常任委員会

- 6月12日(第1回)
 - ・ 6月定例会議に向けた議案説明
総務部所管及び教育委員会所管案件について説明を受けた。
 - ・ 道外所管事務調査について
目的、日程、訪問先などを協議。

産業厚生常任委員会

- 5月14日(第1回)
 - ・ 道内所管事務調査について
- 6月11日(第2回)
 - ・ 6月定例会議に向けた議案説明

議会運営委員会

- 4月24日(第19回)～6月20日(第2回)
(主なもの)
 - ・ 招集会議の議事運営について
 - ・ 議会モニターについて
 - ・ 6月定例会議の議事運営について 等

議会広報常任委員会

- 6月19日 204号企画編集打合せ
構成は14ページと決定
- 6月21日 204号記事企画編集会議
- 7月10日 204号ゲラ原稿の校正
- 7月18日 入稿校了 8月1日発行



編集後記



知床岬携帯基地局の問題も議会の中で議論されました。多様な価値観、そして多くの利害関係者が存在することが事実です。多くの人が正しい事実を知り、幅広い視野でこのことについて向き合っていければと思います。どの選択肢も100%正解はありません。

斜里町のテーマである『みどりと人間の調和を求めて』この問いに向き合い続ける覚悟をあらためて感じ、未来に誇れるよう、我々議員も考え続けなければなりません。

広報委員会 荒木 敏則、渡邊 誠、小暮 千秋、
石井 博美、佐藤 広之、海道 徹

- ・ Facebookで議会の情報を発信中!
- ・ ホームページでは、議会インターネット中継、録画配信・会議録、広報も見るができます。

<http://gikai-sharitown.net/index.html>

Facebook



ホームページ



斜里町議会

で検索 🔍

発行：斜里町議会 〒099-4192 斜里町本町12番地 ☎(0152) 26-8392 [直通] 編集：議会広報常任委員会